科目ナンバリング	U-LAS30 10028 SJ11						
授業科目名<英訳>	情報AI基礎演習［全学向］ Practice in Basics of Informatics and AI (General)			担当者所属職名・氏名	非常勤講師 喜多　一		
群	情報学科目群			分野(分類)	(基礎)	使用言語	日本語
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	水5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

大学での情報通信技術の利活用スキルについて以下の3つの目的に則して演習する。
・アカデミックな活動に必要な ICT スキルを獲得する。
・自立した ICT ユーザとなる。
・ICT スキルを自主的・継続的に獲得する自学自習能力を身につける。

[到達目標]

・パーソナルコンピュータのOSとネットワークの利用の基礎的な操作と安全な利用のスキルを得る。

・推論技法としての帰納、演繹、アブダクションの３種類について知るとともに機械学習で構成されている生成 AIについての基礎的な知識を得る。
・コンピュータがプログラムによって動くことについて、実際のプログラミングを通じて体験的に知るとともに生成 AI によるプログラムの作成支援について知る。
・大学図書館が提供している学術情報とその利用法を知る。
・表計算ソフトを用いてデータ処理を行う基礎的技能を得る。
・学術的な文章をワードプロセッサで作成するために必要な概念と操作技能を得る。
・グループワークにより ICT の利活用に関連した調査を行い、プレゼンテーションソフトを用いて学術的プレゼンテーションを行う基礎的技能を得る。

[授業計画と内容]

おおよそ以下の内容について学習する予定である。

ガイダンス（1週）
大学の情報サービスの利用とコンピュータの基礎（1週）
推論技法と生成AI（1週）
情報の探索（1週）
・学術情報の流れと併せ、図書館が提供する情報源を中心に、
情報探索法の基本を知る。また生成 AI を含めオンラインサービスによる情報探索の利点と課題について学ぶ。（協力：附属図書館研究開発室教員，附属図書館・吉田南総合図書館職員）

知的生産でのコンピュータの活用（8週）
・情報ネットワークとその適正な利用、知的生産について（1週）
・データ分析の基礎 (Excel)（3週）
・文書の整形と構造化 (Word)（2週）
・グループワークによる ICT 利活用についての調査と、プレゼンテーション資料作成、発表 (PowerPoint)（2週）

プログラミングの基礎（2週）
・Python プログラミングの概要（1週）

情報AI基礎演習［全学向］(2)へ続く↓↓↓

情報AI基礎演習［全学向］(2)

・具体的な課題を通じたプログラミングとそこでの生成 AI による支援の体験（1週）

フィードバック（1週）

[履修要件]

所属学部のクラス指定の「情報AI基礎演習」が開講されている場合は、［全学向］の「情報AI基礎演習」を履修しても卒業要件を満たす科目として認められないことがあるので、各自で所属学部に必ず確認すること。

ノートPCを持参して履修すること。

[成績評価の方法・観点]

トピックごとに提出を求める課題・レポートで評価する。レポートは授業で学習したポイントを踏まえているかどうか、記述が明解かどうかなどによって評価する。課された課題、レポートについて、評点を合計したものを成績とする。

[教科書]

喜多、北村、日置、酒井 『情報AI基礎演習 2026』（出版はされていません。オンライン版を授業で提供します。）
このほか授業支援システム LMS での資料配布およびプリントの配付をする。

[参考書等]

（参考書）
教科書に記載されているもののほか、必要に応じて授業中に指示する。

[授業外学修（予習・復習）等]

授業時間外の学習としては、トピックごとに提出を求めている課題・レポートについて取り組むことを求める。

[その他（オフィスアワー等）]

人数制限あり。
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認すること。

情報環境機構が提供する情報セキュリティe-Learningを必ず受講し、修了テストを受けた上で、同テストのフィードバックを確認しておくこと。授業内では受講のための時間は設けないので授業時間外に受講しておくこと。同e-Learningは学生も含めた本学の全構成員に対して毎年受講が求められているものである。2回生以上で過去の年度に受講した場合でも今年度まだ受講していないのであれば必ず受講すること。

[主要授業科目（学部・学科名）]